

# 来年を希望ある年に

安倍政権打倒、来る総選挙へこくた恵二、宮本たけし、清水ただし、こむら潤の衆院近畿比例の4予定候補は27日、神戸・三ノ宮（写真右）、大阪・天王寺でそろって街頭演説しました。

## ●「野党は政権」を合言葉に

こくた氏はこの日午前の野党国対委員長長の会議で「桜」「カジノ」の二本柱で安倍政権を徹底追及することを確認したことを報告。次いで今年を振り返り、自民党の改憲案提示を4国会連続で阻止、政治は変えられることを示した高校生の運動などを紹介し、「『野党は共闘』から『野党は政権』を合言葉に来年を希望ある年に」と訴えました。そのために消費税5%引き下げ、ジェンダー平等社会実現、若い人の声に応えた気候変動問題の取り組みの前進を挙げました。



こくた氏は共闘をつらぬく党、日本政治の根本的転換をかかげる日本共産党の躍進とともに、来年1月19日告示の京都市長選必勝へ大阪、兵庫から大きな支援を寄せるよう強く訴えました。

●ウソとごまかし許さない 今月、比例候補に発表されたこむら氏（尼崎市議）は「市議から国政に挑戦する決意をしたのは、いま立ち上がらねば悔やまれるから。子どもたちにウソとごまかしの政治を見せるのは恥ずかしい。ちゃんとした大人になってもらうためには安倍政治を許してはならない」と訴えました。

清水氏は「カジノより社会保障の充実、国民と中小企業を応援する政治を」、宮本氏は「安倍政治は行政私物化、隠蔽・改ざん、何でも人のせいにする。野党連合政権で政治に希望を取り戻そう」と訴えました。



## こむらさん、大阪・京都府委員会を訪問

こむら候補は27日、大阪、京都両府委員会事務所を訪れ、立候補のあいさつをしました。大阪府委員会では集まった勤務員を前に柳利昭府委員長が近畿比例での躍進を訴え、こむらさんが立候補に至った経過と決意を語りました（写真左）。京都府委員会では渡辺和俊府委員長、金森亨書記長が対応。こむらさんが京都市立芸大出身であることなど京都とのかわりについて和やかに懇談しました。

## 大激戦 京都市長選

## 福山さん勝利へ近畿から駆けつけよう

京都市長選挙が1月19日告示、2月2日投票で激しくたたかわれています。「つなぐ京都2020」の福山和人弁護士と現職市長との「2局対決」。福山候補の訴えは急速に共感を広げています。安倍自公政権丸抱えの現職を打ち破れるかどうかはこれからの奮闘にかかっています。党中央委員会、京都府委員会はボランティアとして京都にはせ参じること、京都市内の知り合いに支持を訴えること、選挙募金に協力することを呼び掛けています。

問い合わせ先は党中央委員会＝03(3403)6111、京都府委員会＝075(211)5371

### 近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 38(2019.12.28)